

事業拡大に向けた方針と知財対応の明確化

会社名 株式会社グリーン・ビッグウェル
 所在地 静岡県沼津市北高島町17-15
 従業員 4名
 資本金 1,000万円
 売上高 -
 業種 ICT活用支援とWEBシステムを開発・導入

greemin-bigwell Co.,Ltd.
 株式会社グリーン・ビッグウェル

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 今後の事業拡大に向けて、まずは事業ドメインを明確に定めた上で事業戦略を固める必要があった。
- その事業戦略に基づくマーケティング戦略と知財面からの対応を考える必要性も生じていた。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 各種ビジネスフレームワークを使って自社事業の状況を可視化できるようになった。
- 自社の今後の構想を実現するために必要な知的財産を整理することができたほか、NDA等、契約に関するノウハウを習得することができた。

今後の事業展開の展望

Future

- 「やるからには世界を狙う」というマインドで、海外展開に向けた準備を進める。
- 主力の生産管理システムとRPA(ソフトウェアロボットによる自動化)でソリューションサービスを提供する。

加速的支援を受けた事業や商材



自社は、ICT活用やウェブサービス導入の支援を行うほか、AI技術の基礎を学ぶカリキュラムを提供するなど、エンジニアの育成事業も手掛けている。

PHP,Python,Ruby,Java,C,C++など多様な言語に対応し、生産性を向上させるソフトウェアやウェブシステムを開発する能力と、プログラミング技術を有している。

世界に先駆けて開発した製造業向け完全クラウド型生産管理システムとRPAを中心に事業の拡大を図る。



加速的支援を実施するにあたって整理した課題

| 取り組んだ課題 | 課題に取り組んだ背景・理由 |
|----------------|--|
| 事業戦略策定 | 今後の事業拡大に向けて、まずは事業ドメインを明確に定めた上で事業戦略を固める必要がある。 |
| 販売・マーケティング戦略策定 | 自社の強みを生かした独自サービス等を中心として競合との差異化を検討し、それをマーケティング施策として実践する必要がある。 |
| 知財戦略・体制整備 | 事業戦略に併せて知財戦略を構築し、また今後の事業拡大に向けて契約や営業秘密管理、職務発明等の社内規程、及び管理体制を整備しておく必要がある。 |
| 海外展開検討 | 今後海外展開を図る場合に留意すべき点等を今のうちから確認・対応しておく必要がある。 |



加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

| 支援を受けた事項 | 支援を通じてできるようになったこと | 活用専門家 |
|----------------|--|-------------------|
| 事業戦略策定 | <ul style="list-style-type: none"> 自社の強みを生かせるターゲットを絞り込んで事業ドメインを定義する重要性を理解できた。 ビジネスモデルキャンバスやバリューチェーン分析等のツールを使って自社事業を可視化できた。 | 中小企業診断士 |
| 販売・マーケティング戦略策定 | <ul style="list-style-type: none"> 事業戦略の策定に沿った販売・マーケティングの考え方を身につけることができた。 商標とブランディングの方針についても整理することができた。 | 中小企業診断士 |
| 知財戦略・体制整備 | <ul style="list-style-type: none"> 自社事業にとって重要な知的財産を特定し、その権利化について検討を進めることができた。 受注、共同開発、NDA等の契約に関する留意点や進め方を理解することができた。 | 弁理士 知財戦略EX |
| 海外展開検討 | <ul style="list-style-type: none"> オンライン販売を含めた海外展開におけるビジネス上の留意点を整理することができた。 将来進出する国を検討し絞ることができた。 | 中小企業診断士 知財戦略EX |

支援チーム紹介

主担当専門家: 中小企業診断士 湯上正信

活用専門家: 弁理士、知財戦略EX

知財総合支援窓口担当者: 静岡県知財総合支援窓口 中村宏之

PO(プログラムオフィサー): 金田和浩